



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社コマースOneホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4496 URL <https://www.cm-one.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡本 高彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 田中 耕一 (TEL) 03 (6261) 6677
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,550	8.0	296	△14.5	331	△11.9	217	△14.4
2022年3月期第2四半期	1,435	22.6	346	36.2	376	42.2	254	42.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 168百万円(△1.5%) 2022年3月期第2四半期 170百万円(△30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	28.91	—
2022年3月期第2四半期	33.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,274	2,454	75.0
2022年3月期	3,108	2,286	73.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,454百万円 2022年3月期 2,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,206	9.1	711	5.2	730	1.9	504	1.7	67.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,523,400株	2022年3月期	7,523,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	49株	2022年3月期	49株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	7,523,351株	2022年3月期2Q	7,523,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、国内外における新型コロナウイルスのワクチン接種促進による感染対策の浸透により経済活動の正常化が進み、いわゆるアフターコロナ下での景気の持ち直しが期待されています。また、2022年3月からまん延防止等重点措置が全面解除され、6月からの海外往来の水際処置の緩和などによりコロナ下で大きく減少していた、外出機会が増えたことで旅行や外食といった接触型サービスを中心に個人消費の回復が見られました。それに伴いアパレルや食料品などの小売事業者も実店舗による販売が回復基調にあります。しかしながら一方では、ウクライナ情勢の長期化による原料価格の高騰や供給面での制約により世界的なインフレが高進し、各国の金融当局は金融引き締め政策を実施いたしました。継続的な物価上昇は続いております。加えて内外の金融政策の違いによる金利差を主要因に大幅な円安が進行しており、国内経済は依然先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くEコマース市場は、2020年から2021年にかけての新型コロナウイルス感染症の国内蔓延による消費活動の変化、いわゆる「巣ごもり消費」の活発化により大きく拡大いたしました。現状ではアフターコロナ下における経済活動の正常化により急激な市場規模の拡大に一服感はあるものの、海外に比較して相対的に低い日本のEC化率の拡大の余地は大きく、Eコマース市場の成長ポテンシャルは非常に高いと考えております。

このような状況下において、株式会社フューチャーショップにおいては各種EC支援サービスとの連携を強化し、流通総額の向上と単価の高いサービスを指向する顧客の増加等による顧客当たり売上の向上を図ったこと、株式会社ソフテルにおいては人員不足を外注で補いながら地道な受注活動を展開した結果、当社グループのECプラットフォーム事業における売上高は1,550,477千円（前年同期比8.0%増）、営業利益は296,149千円（前年同期比14.5%減）、経常利益は331,655千円（前年同期比11.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は217,498千円（前年同期比14.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、3,274,211千円となり、前連結会計年度末に比べ165,426千円増加いたしました。流動資産は2,211,866千円となり、前連結会計年度末に比べ205,741千円増加いたしました。これは、主に業容拡大により現金及び預金が96,468千円増加したことによるものであります。

固定資産は1,062,344千円となり、前連結会計年度末に比べ40,314千円減少いたしました。これは、主に投資有価証券の売却や時価下落に伴い投資その他の資産が49,981千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、819,368千円となり、前連結会計年度末に比べ2,806千円減少いたしました。これは、主に賞与引当金が26,461千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、2,454,843千円となり、前連結会計年度末に比べ168,233千円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価下落に伴い、その他有価証券評価差額金が49,264千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により、利益剰余金が217,498千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.6%から75.0%となりました。

なお、当社は、ECプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて96,468千円増加し、1,739,938千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は153,646千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益342,407千円、減価償却費56,850千円、賞与引当金の減少額26,461千円、投資有価証券売却益10,751千円、前払費用の増加額19,340千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は64,715千円となりました。

これは主に投資有価証券の取得による支出9,996千円及び株式会社フューチャーショップにおける新機能等のソフトウェア開発により無形固定資産取得による支出50,073千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,806千円となりました。

これはリース債務の返済による支出1,806千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,643,469	1,739,938
売掛金及び契約資産	268,938	271,572
仕掛品	5,102	8,204
前払費用	78,914	98,255
未収還付法人税等	—	61,260
その他	14,476	37,205
貸倒引当金	△4,776	△4,570
流動資産合計	2,006,125	2,211,866
固定資産		
有形固定資産	75,493	86,752
無形固定資産	316,256	314,663
投資その他の資産		
投資有価証券	548,046	479,690
その他	163,461	181,733
貸倒引当金	△598	△495
投資その他の資産合計	710,909	660,928
固定資産合計	1,102,659	1,062,344
資産合計	3,108,784	3,274,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,640	61,774
前受金	394,493	386,903
未払法人税等	76,620	127,930
賞与引当金	26,461	—
その他	201,348	167,825
流動負債合計	752,565	744,434
固定負債		
資産除去債務	33,649	45,016
繰延税金負債	20,115	15,878
その他	15,845	14,039
固定負債合計	69,610	74,934
負債合計	822,175	819,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,400	210,400
資本剰余金	160,400	160,400
利益剰余金	1,682,015	1,899,514
自己株式	△70	△70
株主資本合計	2,052,744	2,270,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,864	184,599
その他の包括利益累計額合計	233,864	184,599
純資産合計	2,286,609	2,454,843
負債純資産合計	3,108,784	3,274,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,435,113	1,550,477
売上原価	601,710	674,731
売上総利益	833,402	875,745
販売費及び一般管理費	486,958	579,596
営業利益	346,444	296,149
営業外収益		
受取利息	8	11
受取配当金	26,496	25,715
為替差益	3,111	9,136
その他	284	693
営業外収益合計	29,901	35,556
営業外費用		
その他	6	50
営業外費用合計	6	50
経常利益	376,338	331,655
特別利益		
投資有価証券売却益	15,739	10,751
特別利益合計	15,739	10,751
税金等調整前四半期純利益	392,077	342,407
法人税、住民税及び事業税	142,845	126,017
法人税等調整額	△4,869	△1,109
法人税等合計	137,976	124,908
四半期純利益	254,101	217,498
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,101	217,498

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	254,101	217,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,263	△49,264
その他の包括利益合計	△83,263	△49,264
四半期包括利益	170,837	168,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,837	168,233

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	392,077	342,407
減価償却費	34,492	56,850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	464	△309
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,632	△26,461
受取利息及び受取配当金	△26,504	△25,726
為替差損益 (△は益)	△3,177	△9,390
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,739	△10,751
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,839	△2,530
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,780	△3,101
前払費用の増減額 (△は増加)	△12,298	△19,340
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,638	6,823
前受金の増減額 (△は減少)	39,388	△7,590
その他	△11,060	△31,315
小計	392,029	269,561
利息及び配当金の受取額	26,504	25,726
法人税等の支払額	△208,582	△141,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,952	153,646
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,080	—
定期預金の預入による支出	△150	—
有形固定資産の取得による支出	△442	△4,889
無形固定資産の取得による支出	△51,958	△50,073
投資有価証券の取得による支出	—	△9,996
投資有価証券の売却による収入	14,875	—
その他	△16	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,611	△64,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,806	△1,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,806	△1,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,073	9,343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	174,607	96,468
現金及び現金同等物の期首残高	1,231,242	1,643,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,405,850	1,739,938

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。